

# 平成30年度事業報告

## はじめに

会員人口の変化は昇級・昇段審査受審者数の動向に如実に反映している。公益社団法人（以下公社という）移行後のここ7年の統計によると受審者数は毎年前年比2%平均で減少を続けてきた。（定款第3条）「わが国の伝統と文化に培われた剣道（居合道、杖道を含む）を、正しく継承し、剣道の普及振興を図り、もって府民の健全な心身の育成に資する」ことを大命題とする当連盟は、今まで以上に少子高齢化対策に真剣に取り組んで行く。

（参考）全剣連情報・・・剣窓 H31/2月号「都道府県別新登録者数」

特に、剣道人口の将来につながる“初段取得者”数一覧表

	H28/1-12	H29/1-12	増減率	H30/1-12	増減率
①東京	3,537	→3,476	-1.7%	3,136	-1.0%
②愛知	2,709	→2,605	-3.8%	2,390	-8.3%
③埼玉	2,586	→2,602	+0.6%	2,392	-8.1%
④神奈川	2,459	→2,706	+10.0%	1,857	-3.1%
⑤大阪	2,150	→2,229	+3.7%	1,856	-1.7%
.....					
全国計	36,458	→36,469	+0.0%	32,274	-1.2%

スタート後4年目を迎えた賛助会員制度には、昨年度に続き400件、250万円を超えるご協力をいただいた。t o t oスポーツ振興基金からの少年大会への助成に目途が立ってきたことから、賛助会員制度の所期の目的に沿ったバランスの良い支援活動を展開することとした。

- (1) 少年・・・第13回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会
- (2) 女性・・・2019オールおおさか剣道WOMANフェスタ
- (3) シニア・・・第1回大阪剣道マスターズ大会
- (4) 大阪版「剣道の心」普及活動

- (1) 第13回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会

直前に超大型の台風21号が関西地方に上陸し、北海道中部で震度7の地震と天災に見舞われた。しかし、関係者皆様の綿密な連携の下、大会始まって以来初めて全都道府県の選手団が揃い、盛会裡に開催することができた。区切りの第10回大会以降大きな課題であった安定財源の確保についても、共催の大阪市のアドバイスを受け、昨年の第12回大会に引き続きスポーツ振興基金からは227万円、賛助会員制度の中から121万円の助成をいただき、無事開催することができた。今年度の第14回大会については、諸般の事情で会場が舞洲から大阪市中央体育館に変わるが、「高校野球の甲子園」、「高校ラグビーの花園」に匹敵する「少年剣道のおおさか」の火を消すなどの熱い思いの下、少年達の心にいつまでも残る大会を目指して準備して行きたい。

- (2) 2019オールおおさか剣道WOMANフェスタ

女子剣道の裾野の拡大が府下剣道界の充実と発展に大きな役割を果たすと考え、一般企業の協賛も受け、女子委員会を中心に企画した。3月16日（土）大阪城内の修道館に於いて230名あまりが参加し、国際女性DAYに合わせ、大阪が誇るTOPレベルの警察・実業団の選手との稽古とスイーツにおしゃべりの楽しいフェスタを開催し、大阪の女子力を示す活動を行った。

- (3) 第1回大阪マスターズ剣道大会

人生100年時代が現実化する中、生涯剣道の推進役として頑張っていたくシニア層の一体感を醸成する場を企画した。7月1日（日）大阪市住吉スポーツセンターに於いて170名あまりが参加し、シニアの存在感を示す活動を行った。

#### (4) 大阪版「剣道の心」

「剣道の理念をよりわかりやすく」と、未来構想委員会を中心に検討を進めてきた。2年をかけてまとまった唱和版を解説パンフレットとクリアホルダーの形にして配布し、普及活動を展開した。

財政基盤の確立については、個人会費と審査料・登録料が主な財源で、更に収支相償（大きな赤字も、大きな黒字もだめ）という公益法人に課せられた難しい縛りの中で、一般会計で一昨年度までの3年、赤字が続いていた。主な要因は昇級・昇段審査受審査者数の減少によるものであった。このような環境の中で、1年毎の単年度思考を改め長期的な視点に立って中期計画を策定した。様々なコストプレッシャー要因を把握した上で、安易に会費・審査料等の値上げに頼らない財政運営の模索を行った。赤字事業の見直し、管理費の削減等徹底した緊縮財政に各方面でご理解、ご協力をいただき、着実に赤字を減らし、今年度は2年連続若干の黒字となった。まだまだ安定した黒字体質には程遠く徹底して緊縮財政を継続する。

その他事業については

- (1) 定款に定められた各種大会、講習会、講演会、昇級・昇段審査会、各種大会等への選手・役員の派遣、功労者表彰、安全衛生対策等諸事業については各委員会・事務局が中心になって年間行事予定に従い準備、推進した。
- (2) 先年立ち上げた2つの委員会については出来るだけ早く所期の目的につなげ、軌道に乗せるよう努力した。
  - ①学校委員会については、学校現場の情報を密に交換し、その連携を深めて、更なる剣道人口の増加を図る対策の研究を進め、着実にデータを積み上げてきた。
  - ②女子委員会については、女子剣道の裾野の拡大が府下剣道界の充実と発展に大きな役割を果たすと考え、女性剣士の交流の場を広げ、指導者層の拡大充実を図った。特に、各種大会での形・模範演武、3月の国際女性DAYに合わせ「2019オールおおさか剣道WOMANフェスタ」を企画開催し、おおさかの女子力を示す活動を積極的に行った。
- (3) 中学校における武道必修化支援については、全日本剣道連盟の呼びかけに応え、中学校における武道必修化対応事業として平成30年9月に「授業協力者養成ブラッシュアップ講座」を実施し、これまでに計120名余りの派遣講師候補を養成した。また、大阪府教育委員会では各中学校に呼びかけ、保健体育教員を対象に剣道の授業展開に対応できる教員養成講座を平成30年11月から12月に計4回実施し、当連盟から講師を派遣し全面支援した。外部講師による部活支援の機運も高まってきており、全面的に協力を行う方針である。
- (4) とかく閉鎖的になりがちだった剣道界であるが、少子高齢化問題をはじめとした共通課題について情報交換を始めた。同じ公益社団法人として組織運営で共通の課題を持つ福岡県剣道連盟、そして地勢的に共通点の多い近畿2府4県との交流を深め、お互いの課題解決に向け意見交換を行った。

以下、平成30年度事業計画に基づき実施した具体的事業について概括する。

### I. 公益事業

#### 1. 個人会員および登録団体の状況

剣道はそもそも道場を基盤とした「道場文化」の上に成り立っていた。公益法人に移行して7年を経過し、組織構成員の位置づけを明確にした個人会員登録制度が定着してきたものの、一方で「道場文化」が希薄化する傾向がみられる。道場を活動拠点として、剣道を通じてよき師に巡り合い、友人関係の深い絆を形成してきたこのよき伝統を是非とも「登録団体」で補完していただきたい。まずは、稽古の場を持つことはもちろん、大会・審査会・講習会等の情報連絡、スポ

ーツ保険や個人登録会費の納入などの事務的なとりまとめ、稽古環境の整備等にはじまり、交剣知愛の輪を広げる扇の要（かなめ）の役割を積極的に果たしていただきたい。

個人会員数は、高校生相当年齢 2,127 名、大学生相当年齢 862 名、一般 13,516 名であった。なお、中学生以下の登録者は 8,552 名で、その合計は 25,057 名であった。昨年度と比べると、一般の登録者は増加の傾向が窺えるが、高校生相当年齢および大学生相当年齢は減少の傾向が顕著である。中学生以下の登録者数は微減であった。個人会員数合計は、横ばい状態が続いている。

本年度の入会登録団体は 4 団体あり、退会登録団体は 4 団体で、本年度末の登録団体数は 569 団体となった。

## 2、講習会の開催及び指導者育成事業（定款第 4 条第 2 号）

真の剣道精神と正しく高度な技術を兼ね備えた剣道人の育成を目指すと共に、各層の剣道の普及発展を図るため、講習会を開催した。

剣道においては、近年マンネリ化していた講習会の参加者を増やし、指導者の一層のレベル UP を図るために、府下 9 地区を北・中・南の 3 ブロックに大きく括り、八段講師を毎回約 5 人投入し、審判法・日本剣道形と指導法を有機的につなぐ講習会を企画、実施した。各ブロック 1 回ずつ、計 3 回の講習で延べ 249 名の参加を得た。

これに先駆けて、指導講師間での趣旨徹底、意思統一するため、5 月 19 日午前に全剣連伝達講習を兼ねて八段講師研修会を開催し、午後に審査員審判員研修を行った。

これまで実施してきた講習会については、審判法 3 回、日本剣道形 2 回、指導法 2 回、女子剣道普及のための講習会・稽古会を 1 回、合計で 8 回開催した。

これらに加えて、全剣連後援講習会（日本剣道形）を公認審査員・審判員とこれらの候補者となる剣士を中心に受講者を募り、実施した。

上記の地域合同講習会開催に注力するとともに、従前の地域・職域（大阪剣道協会、高校体育連盟、学生連盟、実業団、官公署、道場連盟）における講習会には、講師手当の一部を補助して開催を促進した。これらの剣道講習会を合計で 29 回開催し、受講者延べ 1,310 名であった。

これら上記の講習会には、段位・級位審査員、審判員および称号受審者に年 2 回の受講を義務づけており、個人登録システムにより資格認定の必須条件として厳密に管理することとした。

さらに、9 月には、全剣連の主導により中学校における武道必修化に対応した第 5 回目の「授業協力者養成講習会」を実施した。受講者は 32 名であった。

居合道では、特別強化練習会・夏季講習会など 9 回実施し、恒例となった、全剣連派遣講師による講習会を 1 回実施、合計 10 回の講習会を行なった。

杖道では、2 回の主要講習会に加えて 10 回の月例研修会を開催した。

また、全日本剣道連盟主催・当連盟主管の杖道地区講習会を 8 月 25・26 日に丸善インテックアリーナ大阪(大阪市中央体育館)で、全国から多数の講師・受講生を迎えて開催した。

三道共通講習会として、例年開催している、「スポーツ安全講習会」を 2 月 2 日（土）エル・おおさかに於いて、公益財団法人スポーツ安全協会大阪府支部の助成を受けて、講師に林田健治医師（警察病院整形外科部長）を招聘して「剣道選手の肩痛について」、田中美成医師（労災病院スポーツ整形外科部長）を招聘して「スポーツ選手の膝疾患について」の 2 つをテーマにして、開催したところ、120 名余りが受講し、大きな反響を得た。

暑中稽古の開催については、オール大阪暑中稽古と銘打ち、7 月 30 日府民共済 SUPER アリーナ(舞洲アリーナ)で実施し、約 860 人の参加があった。府内剣道人が一堂に会し、共に汗を流し、自己の存在を確認し、成長を図る場として、今後も一層の成果を期待したい。また寒稽古は 1 月 4、5 日に丸善インテックアリーナ大阪(大阪市中央体育館)で実施し、多数の参加を得た。

## 3、各種大会開催事業（同条第 3 号）

本連盟主催分・・・ 6 月 17 日（日）第 55 回大阪杖道大会

6 月 23 日（日）第 51 回大阪府少年剣道大会

	7月 1日 (日)	第1回大阪剣道マスタース大会	
	7月 21日 (土)	第65回大阪府剣道優勝大会	
	9月 16日 (日)	第13回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会	
	11月 4日 (日)	第15回大阪府女子剣道優勝大会	
本連盟後援分・・・	9月 17日 (祝)	第41回関西杖道優勝大会	
	11月 17日 (土)	第48回居合道段別大会	
平成31年	1月 13日 (日)	第60回大阪居合道大会	
本連盟主管分・・・	4月 29日 (祝)	第66回全日本都道府県対抗剣道優勝大会	
	5月 27日 (日)	大阪市長杯第62回市民剣道大会	
	8月 3日 (金)	第60回全国教職員剣道大会	

4、府外剣道大会等への役員、選手および受講者等の派遣（同条第4号）

次のとおり派遣した。

<剣道>

3月 31日 (土) ~ 4月 1日 (日)	第53回剣道西日本中央講習会	神戸市 平野、三浦、下垣
4月 15日 (日)	第15回全日本選抜剣道八段優勝大会	名古屋市 山本、新屋、江藤
4月 29日 (祝)	第65回全日本都道府県対抗剣道優勝大会	大阪市
5月 2日 (水) ~ 5日 (祝)	第114回全日本剣道演武大会	江藤、森島、内橋、勝見、村上、大城戸、田中、平野 京都市
6月 13日 (水) ~ 17日 (日)	第56回剣道中堅剣士講習会	参加者：461名 奈良市
7月 14日 (土)	第10回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会	東京都 寺本、村川、玉置、山本、井、川内
8月 19日 (日)	第73回国体 近畿ブロック大会	和歌山市 少年男・女、成年女子 13名
9月 2日 (日)	第64回全日本東西対抗剣道大会	宮城県仙台市 豊丸、大石、佐藤、石田、神崎
9月 16日 (日)	第13回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会	大阪市
9月 23日 (日)	小学生チーム 2チーム、中学生チーム 2チーム 第57回全日本女子剣道選手権大会	計4チーム 長野県長野市
9月 30日 (日) ~ 10月 2日 (火)	第73回国民体育大会	山本真、山本瑤、山崎 福井県福井市
11月 3日 (祝)	第66回全日本剣道選手権大会	少年男子・成年男子 計2チーム 東京都
11月 3日 (祝) ~ 5日 (火)	第31回全国健康福祉祭	岩切、村上、前田 富山県砺波市
	大阪府チーム：田中、安部、井上、吉積、川頭、本郷 大阪市チーム：甲斐、菊池、藤井、植西、江良、大泉 堺市チーム：木村、金内、大川畑、河内、藤澤、藤田	

<居合道>

5月 2日 (水)	第114回全日本剣道演武大会	京都市	参加：58名
7月 7日 (土) ~ 8日 (日)	全剣連地区講習会	和歌山県和歌山市	参加：96名

9月 8日(土)～ 9日(日)	第45回全剣連中央講習会	京都市	
		光行、伏見、無津呂	
10月20日(土)	第53回全日本居合道大会	茨城県水戸市	
		光行、岡島、白井、黒木	
<杖道>			
5月 2日(水)	第114回全日本剣道演武大会	京都市	参加：20名
6月 2日(土)～ 3日(日)	第27回全剣連中央講習会	千葉県勝浦市	
		坂上、大島谷	
8月25日(土)～26日(日)	全剣連地区講習会	大阪市	参加：101名
10月14日(日)	第45回全日本杖道大会	福岡県久留米市	
	四段：篠原(玄武館)	六段：渡邊(住吉)	
			参加：22名
平成31年1月18日(金)～19日(土)	全剣連地区講習会	東京都八王子市	
			参加：13名

5、称号および段級位の審査並びに段級位の授与(同条第5号)

段位審査会は、剣道5回、居合道2回、杖道2回実施した。剣道の受審者数は5,291名で、前年度より6.2%の減少、居合道は微減、杖道は減少となった。

6、功労者の表彰(同条第6号)

①平成30年度 全剣連 剣道功労賞 小林 三留

②平成30年度 全剣連 剣道有功賞 畠山左千夫  
辻 秀樹  
武 正行

③平成30年度 全剣連 少年剣道教育奨励賞

豊能地区	北辰館千葉道場	箕面警察署少年剣道推進会
三島地区	希望の杜 一心会	
大阪北地区	都島少年剣道推進会	
大阪南地区	天王寺剣友会	第二機動隊少年剣道推進会
中河内地区	彊心館道場	柏原警察署少年剣道推進会
	羽曳野警察少年剣道推進会	
堺地区	黒山警察少年剣道推進会	

④平成30年度 大阪府 生涯現役スポーツ賞

金賞	名越 率
銀賞	澤 義孝
〃	富田 實
〃	佐藤 政子
団体賞	高石剣道会

⑤第21回全日本実業団女子・高壮年剣道大会 女子団体 優勝  
パナソニックエコソリューションズ社門真

⑥全日本剣道連盟 感謝状 鏡山 博行

- ⑦第 40 回全日本高齢者武道大会（剣道）男性個人戦B組(65 歳～69 歳) 優勝  
石丸 俊武
- ⑧第 51 回全国教育系大学学生剣道大会 女子の部 優勝  
大阪教育大学
- ⑨第 60 回全国教職員剣道大会 団体戦 優勝  
大阪教職員クラブ
- ⑩平成 3 0 年度全国警察剣道大会 男子団体戦第 1 部 優勝  
大阪府警察
- ⑪第 17 回世界剣道選手権大会 男子団体の部 優勝  
日本  
(大城戸・前田)
- ⑫第 17 回世界剣道選手権大会 女子団体の部 優勝  
日本  
(山本)
- ⑬全国高等学校定時制通信制体育大会 第 49 回剣道大会 男子個人戦 優勝  
東谷 喜也  
(向陽台高等学校)
- ⑭第 48 回全国中学校剣道大会 女子個人の部 優勝  
生出 琴華  
(大阪市立董中学校)
- ⑮八 段 昇 段 剣 道 吉積 弘次

## 7、その他大剣連の目的達成のための必要な事業（同条第 7 号）

### ①普及活動の推進

会員の活動状況の把握に努めると共に、普及委員（地区担当理事）を中核として 9 地区毎に地区普及協会組織を強化し、地区内の普及活動を活発に推進した。

#### ◇地区および職域講習会の開催

各地区（合同講習会含む）・職域における指導者層のレベルアップを図り、正しい剣道の普及と活力ある指導者の育成を目指して 3 2 回開催され、活発な活動が行なわれた。

#### ◇地区大会の開催

各地区および職域等で開催された 3 6 回の剣道大会に後援、援助を行なった。

#### ◇地区昇級審査会の開催

平成 22 年 4 月 1 日から、新制度下で行われており、各地区で小中学生を対象に、7 6 回の昇級審査会が開催された。

#### ◇予算措置

9 地区剣道普及協会に対しては地区活動推進のために、居合道、杖道、中体連、高体連、学生剣連、社会人剣連、官公署、大剣協、道場連盟等に対しては活動推進のために、補助金審査委員会の決定のもとに、補助金を支出し、援助を行なった。

#### ◇報道促進

迅速な情報提供のために、ホームページの活用について検討を続け、ツイッター・メールマガジン・行事の写真・動画の配信を引き続き推進した。また、新聞・通信社に、当連盟の開催する大会、予選会等の記事掲載のため、情報を提供している。

## ②安全対策

### 保険加入の徹底

#### ◇行事傷害保険

会員に傷害保険の重要性について理解を求め、大剣連主催行事に際しては、主催者として、行事傷害保険加入を完全実施している。熱中症・脳梗塞・食中毒なども適用範囲となっている。

#### ◇スポーツ安全保険

会員団体の日常稽古における傷害などの補償確保については、契約者を（公社）大阪府剣道連盟会長とした加入申込書と説明書を全会員団体に送付し、加入を促している。把握している加入数は 229 団体 2,337 名で、加入団体数は微増であったものの、加入人数は 9%程度減少した。1 団体の所属者数が減少傾向（登録団体が小規模化）にあると思われる。なお一層の加入者数の増加に努めたい。

#### 傷害発生の傾向

事故・傷害の保険適用件数は 70 件で、昨年度に比べ減少したが、事故の内容は、これまでと同様に、四肢の捻挫や骨折が多い。中でも、少年剣士の足部の骨折が多く報告されている。その状況は、転倒や稽古者同士の接触によるものが多数報告されており、稽古の方法について一考の必要があると思われる。また、自宅から稽古場へ通う道中の事故・怪我也発生しており、各登録団体において、事故防止・交通安全指導をお願いしたい。

級位審査に「木刀による剣道基本技稽古法」が取り入れられた関係上、より安全性を重視するよう、関係者に注意を促している。

## II. 収益事業

### 1、全剣連発刊出版物等の頒布事業

講習会資料、試合・審判規則、日本剣道形解説書など、総計 728 冊を販売した。

### 2、広告等募集事業

大会プログラムに広告掲載を各方面より募集し、総数 36 件、総計 715,000 円の協力を得た。

## III. 共通事業

### 事業活動組織

常任理事会を 3 回、理事会を 5 回開催し、業務運営の方向を定めつつ、事業を実施した。事業活動の円滑な遂行のため、委員会間の連携を図り、活発な活動を行なった。

常置委員会として、総務（法規整備、綱紀・安全）、IT・広報（個人情報保護管理）、財務、補助金審査、未来構想、学校、普及、少年、女子、講習会、審判、強化、審査、審判員選考、事業、居合道、杖道、審査員選考の 18 専門委員会を設置、それぞれの領域で活動を行った。

# 平成30年度事業報告 資料

## I 剣道

### (1) 講習会の開催および指導者の育成

次のとおり、講習会、稽古会等を実施した。

	講習会名称	実施回数	指導者数	参加者数
連 盟 主 催	審判講習会	3回	15名	161名
	日本剣道形講習会	2回	8名	140名
	指導法講習会	2回	9名	111名
	女子稽古会・講習会	1回	3名	44名
	計	8回	35名	456名

平成31年3月 2日(土) 全日本剣道連盟後援講習会 日本剣道形  
於丸善インテックアリーナ大阪(大阪市中央体育館)  
全剣連派遣講師:加藤 浩二 範士 参加:44名

### (2) 各種大会の開催

5月27日(日) 大阪市長杯第62回市民剣道大会 (大阪市主催、大剣連主管)  
優勝:男子の部 NTT西日本㈱ 於修道館  
女子の部 NTT西日本㈱ 参加:68チーム  
351名

6月23日(土) 第51回大阪府少年剣道大会  
兼 第13回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会大阪府予選会  
於丸善インテックアリーナ大阪(大阪市中央体育館)  
優秀チーム 参加:256チーム  
高学年:英彰剣道クラブ、寺内剣友会、高野台剣友会 764名  
低学年:穴師剣道会、小曾根剣友会、大阪剣武館

7月 1日(日) 第1回大阪剣道マスタース大会 於住吉スポーツセンター  
参加:170名(剣道:147名、居合道:6名、杖道:17名)

7月21日(土) 第65回大阪府剣道優勝大会 於丸善インテックアリーナ大阪(大阪市中央体育館)  
優勝:男子一般 パナソニックエコソリューションズ社本社 参加:179チーム  
女子一般 パナソニックエコソリューションズ社本社 926名  
高校男子 履正社高等学校

9月16日(日) 第13回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会(大阪市・大剣連主催)  
於おおきにアリーナ舞洲(舞洲アリーナ)  
参加:小学生の部 48チーム  
中学生の部 48チーム

11月 4日(日) 第15回大阪府女子剣道優勝大会 於臨海スポーツセンター  
個人戦の部 優勝 一部:元木 二部:小笠原 三部:井  
四部:西内 五部:東角 参加:122名



団体戦の部 優勝 一部：パナソニックエコソリューションズ社本社  
 二部：心技館

参加：36チーム、116名

上記のほかに、大阪学生剣道連盟、高体連、中体連、大剣協、大阪社会人剣連、大阪官公署剣連等の各種大会について、後援を行なった。

(3) 各種予選会の開催

4月15日(日) 全国健康福祉祭剣道交流大会予選会  
 於丸善インテックアリーナ大阪(大阪市中央体育館)  
 参加：30名

代表：(大阪府チーム) 田中、安部、井上、吉積、川頭、本郷  
 (大阪市チーム) 甲斐、菊池、藤井、植西、江良、大泉  
 (堺市チーム) 木村、金内、大川畑、河内、藤澤、藤田

4月21日(土) 第10回全日本都道府県対抗女子剣道大会・大阪府予選  
 代表：村川、玉置、山本、井、川内  
 於丸善インテックアリーナ大阪(大阪市中央体育館)  
 参加：49名

5月19日(土) 第73回国民体育大会・成年の部・大阪府予選 於修道館  
 代表：(男子) 小角、土谷、藤田、中尾、松原 参加：107名  
 (女子) 山本、畠中、川内

6月30日(土) 第57回全日本女子剣道選手権大会・大阪府予選 於修道館  
 代表：山本真、山本瑤、山崎 参加：44名

9月1日(土) 第66回全日本剣道選手権大会・大阪府予選  
 於パナソニックエコソリューションズ社剣道場「松風館」  
 代表：岩切、村上、前田 参加：61名

平成31年2月24日(日) 第67回全日本都道府県対抗剣道優勝大会・大阪府予選 於修道館  
 代表：内城、中西、足達、村上、土谷、市原、愛甲 参加：137名

(4) 審査会

7月16日(祝) 東大阪アリーナ  
 10月14日(日) 近畿大学記念会館  
 11月23日(祝) 岸和田市総合体育館  
 平成31年1月14日(祝) おおきにアリーナ舞洲(舞洲アリーナ)  
 3月21日(祝) 丸善インテックアリーナ大阪(大阪市中央体育館)

	初 段	二 段	三 段	四 段	五 段	合 計	前 年 比
受審者数	2,163	1,736	575	411	406	5,291	△ 350 △ 6.2%
(うち女性)	650	492	139	123	102	1,506	△ 132 △ 8.1%
合格者数	1,852	1,214	356	200	157	3,779	△ 288 △ 7.1%
(うち女性)	558	356	80	44	27	1,065	△ 79 △ 6.9%

参考 (称号および六段以上)

	六 段	七 段	八段	錬士	教士	範士	合 計	前 年 比
受審者数	445	351	276	80	37	—	1,189	△ 5 △ 0.42%
合格者数	99	53	1	80	37	—	270	+ 19 + 7.57%

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

7月21日(土) 第65回大阪府剣道優勝大会 於丸善インテックアリーナ大阪  
(大阪中央体育館)  
演武 日本剣道形 加藤 忠次 - 石田 洋二  
宝蔵院流 槍術 前田 繁則 - 尾野 好司  
小野派一刀流 組太刀 井上 勝由 - 野村 光輝  
なぎなた 吉田 諒 - 八木 千智  
7月30日(月) 暑中稽古 於府民共済SUPERアリーナ(舞洲アリーナ)  
参加者: 約 860名

平成31年 2月11日(祝) 第23回大阪武道祭 演武 於丸善インテックアリーナ大阪  
(大阪中央体育館)  
参加: 大阪市立修道館小学生練習生 10名及び指導者 1名

3月の国際女性DAYに合わせた新しい企画として、  
平成31年3月16日(土) 2019 オール大阪剣道 WOMAN フェスタ 於修道館  
「つなぐ-en-システム(株)」の協賛を得て、子供から大人まで女子230名が参加

## Ⅱ 居 合 道

### (1) 講習会の開催および指導者の育成

5月19日(土) 第1回特別強化練習会・全日本居合道大会選考会	於東淀川体育館	参加：140名
6月16日(土) 審判講習会	於東淀川体育館	参加：67名
7月21日(土) 第2回特別強化練習会	於丸善インテックアリーナ大阪 (大阪市中央体育館)	参加：122名
8月11日(祝) 夏季居合道講習会	於東淀川体育館	参加：190名
9月22日(土) 全剣連伝達講習会	於丸善インテックアリーナ大阪 (大阪市中央体育館)	参加：129名
平成31年1月19日(土) 新年合同稽古会	於エディオンアリーナ大阪	参加：107名
1月26日(土) 第3回特別強化練習会	於東淀川体育館	参加：108名
2月11日(祝) 高段者特別錬成会(英信流)	於修道館	参加：26名
2月24日(日) 春季居合道講習会	於丸善インテックアリーナ大阪 (大阪市中央体育館)	参加：177名
平成30年4月7日(土)～8日(日) 全剣連派遣講師講習会	於修道館	参加：延243名
全剣連派遣講師：小倉 昇 範士		

### (2) 各種大会の開催

11月17日(土) 第48回居合道段別大会	於千島体育館	参加：140名
(段外は優秀賞、初段～六段は優勝、七段は最優秀賞・部長賞の受賞者のみを記載)		
<男子> 段外：横山(石切)、阿佐(振興会)、篠原(交通局)、山下(春風会)		
初段：川原(近畿大) 二段：浦崎(近畿大) 三段：堀(交通局)		
四段：土屋(茨木協) 五段：永井(水月会) 六段：中島(水月会)		
七段：最優秀賞…本郷(大剣協)、部長賞…綿谷(春風会)		
<女子> 初・二段：林(北摂会) 三段：守屋(近畿大)		
五・六段：老松(箕面協会)		
平成31年1月13日(日) 第60回大阪居合道大会	於エディオンアリーナ大阪	参加：1,087名
(段外は優秀演武賞受賞者数、初段～六段は優勝者、七段は福田一男杯、居合道同志会長杯および優秀演武者受賞者のみを記載)		
<男女混成> 段外：30名		
七段…福田一男杯受賞者：原田 渡(神奈川)		
…大阪居合道同志会長杯：宇都宮 聡(愛媛)		
…最優秀演武者：横山 和日光(長野)		
<女子の部> 初段：河上祐輝(國學院大) 二段：陸井美輝(立命館大)		
三段：岡本記代子(静岡) 四段：阪口裕子(東京)		
五段：亀井美和(高知) 六段：瀧澤朋未(群馬)		
<男子の部> 初段：山脇大堯(京成大) 二段：北川直也(京成大)		
三段：依田忠之(大阪) 四段：下野 修(神奈川)		
五段：草間大介(新潟) 六段：井出烈太郎(福岡)		
<団体の部> 優勝：水月会 2位：八重垣会		

(3) 各種予選会の開催

5月19日(土) 第53回全日本居合道大会大阪府選手選考会 於東淀川体育館  
 (第1回特別強化練習会) 参加: 140名  
 監督: 光行 選手: 岡島、白井、黒木

10月13日(土) 第60回大阪居合道大会大阪府予選会 於千島体育館  
 参加: 150名  
 3位: 春風会・無外流一法会 決勝戦は、1月13日大阪居合道大会で実施した。

(4) 審査会

8月25日(土) 於修道館

平成31年3月3日(日) 於修道館

	初段	二段	三段	四段	五段	合計	前年比
受審者数	35	16	17	17	25	110	△2名
合格者数	30	13	14	5	8	70	△3名

	六段	七段	八段	錬士	教士	範士	合計	前年比
受審者数	23	9	12	5	2	—	51	+5名
合格者数	4	1	0	5	2	—	12	+1名

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

7月21日(土) 第65回大阪府剣道優勝大会 於丸善インテックアリーナ大阪  
 (大阪市中央体育館)  
 演武 無外流・太刀打之形 東 弘一 — 柴田勝己

11月4日(日) 第15回大阪府女子剣道優勝大会 於臨海スポーツセンター  
 演武 無双直伝英真流 居合道形 中尾美世  
 全日本剣道連盟 居合道形 川口伊都子

平成31年2月11日(祝) 第23回大阪武道祭 演武 於丸善インテックアリーナ大阪  
 (大阪市中央体育館)  
 参加: 光行良一 — 本郷雅昭 東 弘一 — 黒木教夫

### Ⅲ 杖 道

#### (1) 講習会の開催および指導者の育成

4月 8日(日) 春季講習会	於東淀川体育館	参加：78名
5月13日(日) 高段者講習会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：35名
6月 3日(日) 審判講習会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：36名
7月 8日(日) 伝達講習会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：33名
8月 5日(日) 強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：40名
9月 9日(日) 審判講習会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：34名
10月27日(土) 秋季講習会	於修道館	参加：69名
11月 4日(日) 高段者講習会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：30名
12月 9日(日) 高段者稽古会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：39名
平成31年1月 6日(日) 稽古初め	於川西市総合体育館	参加：48名
2月10日(日) 高段者稽古会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：35名
3月10日(日) 高段者稽古会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：25名

#### (2) 各種大会の開催

6月17日(日) 第55回大阪杖道大会兼第45回全日本杖道大会大阪府予選会  
於修道館 参加：140名

(優勝者のみを記載)

初段以下：竹村(神戸大) 二段：日下(養峻館) 三段：金丸(和歌山)  
四段：篠原(玄武館) 五段：山口(和歌山) 六段：渡邊(住吉)

9月17日(祝) 第41回関西杖道優勝大会 於川西市総合体育館 参加：145名  
 <団体戦> 優勝：奈良A 準優勝：玄武館A  
 <個人演武優秀賞> 段外：深野創(紀州)、深野匡(紀州)  
 初段：安藤(京都)、サザノフ・マキシム(ロシア)、  
 山口(住吉)、山田(玄武館)  
 二段：佐埜(奈良)、曾根(泉北はつが野) 高橋(河内長野)、  
 中西(住吉)

#### (3) 各種予選会の開催

※上記、6月17日(日) 第55回大阪杖道大会兼第45回全日本杖道大会大阪府予選会に記載

#### (4) 審査会

4月22日(日) 於修道館

11月25日(日) 於修道館

	初段	二段	三段	四段	五段	合計	前年比
受審者数	8	4	10	5	8	35	△17名
合格者数	8	4	9	4	2	27	△13名

	六段	七段	八段	錬士	教士	範士	合計	前年比
受審者数	7	3	4	6	0	—	20	+8名
合格者数	3	0	0	6	0	—	9	±0名

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

- 7月21日(土) 第65回大阪府剣道優勝大会 於丸善インテックアリーナ大阪  
(大阪市中央体育館)  
演武 全日本剣道連盟杖道形 近藤眞佐雄 - 渡邊ロマン  
神道流 剣術 下谷 光生 - 大島谷 仁  
内田流 短杖術 中野 伊織 - 奥本 敏郎  
一心流 鎖鎌術 帆谷 増幸 - 古谷 重勝
- 11月 4日(日) 第15回大阪府女子剣道優勝大会 於臨海スポーツセンター  
演武 広瀬 和子 - 阪本 正美
- 平成31年2月11日(祝) 第23回大阪武道祭 演武 於丸善インテックアリーナ大阪  
(大阪市中央体育館)  
参加: 服部知司 - 帆谷増幸 近藤眞佐雄 - 坂上 亨
- 3月17日(日) 第7回杖道体験講習会 於森ノ宮医療学園 一般受講者15名
- 主管行事として、  
8月24日(金) 全剣連主催 杖道六・七段審査会 於丸善インテックアリーナ大阪  
(大阪市中央体育館)  
8月25日(土)～26日(日) 全剣連主催 杖道地区講習会  
於丸善インテックアリーナ大阪  
(大阪市中央体育館)

これらの他、普及・振興のために各地・各大会での演武活動に力を注いだ。

## 平成 30 年度事業報告 附属明細書

平成 30 年度事業報告には、「一般法施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和元年 5 月

公益社団法人 大阪府剣道連盟